Pioneer DJ

NEW
2013.9

「Serato DJ」の可能性を引き出し、新たな楽曲アレンジを実現する、
DJコントローラー DIGITAL DJ-SR

自動連打など多彩な効果を生み出す「PERFORMANCE PADS」に加え、
スクラッチに適した操作性の「BIG JOG」を搭載。
アグレッシブなプレイに耐えるスチール素材のトップパネルを採用。

NEW DJ CONTROLLER

DIGITAL DJ-SR

正式型番:DDJ-SR

・「Serato DJ」を使った直感的でダイナミックなDJパフォーマンスを可能にする操作部
・パッドを使ったDJプレイをより個性的にする「PAD PLUS」機能
・多彩なパフォーマンス機能を搭載した最新DJソフトウェア「Serato DJ」の無償ダウンロード
・激しい操作にも耐えうる堅牢な筐体

オープン価格※　※オープン価格の商品は希望小売価格を定めていません。

無償ダウンロード serato DJ

※Serato DJは、Serato Audio Research Ltd.の登録商標です。

■ PIONEER DJ のグローバルコミュニケーション、サポート、商品情報はこちらから ▶ pioneerdj.com
■ 新しいお知らせや商品の詳細な情報、DJ/CLUBインタビューはこちらのホームページから ▶ pioneer.jp/cdj/

HARLEM
SPIT'EM OUT "It's Absolutely R
MONTHLY MAGAZINE
This Magazine gives y'all Hip Hop Headz the Real Words from the Real Scene...
FREE
2014 01 January 2014
volume.070-issue.197
.co.jp

COVER INTERVIEW:
DJ KOMORI
"PARTY NAKED"

HAPPY NEW YEAR 2014

皆様と共に発展と飛躍の年を迎えました事をお慶び申し上げます。
今年も益々の向上を目指し、全員一丸となり精進いたします。
旧年中の各位のご愛顧を深く感謝申し上げると共に、今後一層のご厚情をお願い申し上げます。

平成二十六年

株式会社おたのしみ研究所／HARLEM スタッフ一同

HARLEM BXCAFE www.harlem.co.jp

COVER INTERVIEW:
DJ KOMORI
“PARTY NAKED”

Cover & Interview Photo by S-SAITO

『5年前、10年前のDJの感覚とはガラッと変えて、自分に合った方法を見つけて表現する事が、これからはマストになるんだろうなとは思います…』

制作、現場においてもHARLEMレギュラーDJの中では独自の路線を進むDJ KOMORI。2013年も十二分にその存在を魅せた彼が、自身のネクスト・レヴェルについて語る。

●“PARTY NAKED”は3年目に突入しましたが、今どんなお気持ちですか？

HARLEMで今までやった事がないようなパーティーを新しく始めようっていう事でスタートしたわけですけど、実験的な事も凄く多いパーティーだし、HIP HOPメインでというよりはDANCE MUSIC主体でやるっていうのも今までにないパーティーだと思うんですよ。それこそ名古屋と大阪からDJを呼んでやるレギュラーパーティーっていうのも初めてだし、そういう意味では今まで好調に続いてきている事は素直に良かったなって思いますね。皆が頑張ってくれてるからだなっていうのは凄く感じてて、HARLEMのスタッフだったりALLOWS（オーガナイザー）のスタッフだったりが一緒に色々と考えて、『クリエイティブな事をやってパーティーを作っていこう』っていう温度も凄く感じたし、若手の子たちも『パーネイ、パーネイ』って言って自分がDJしない時も一緒に飲んで遊んでパーティーしてっていう感じなので。そういう雰囲気が凄く出て、センスのいいお客さんたちが集まってくれているのかなと思いますね。

●各DJの方たちとのコンビネーションも格段に進化していると思います。パーティーを成熟させるためにプレイ以外にも話し合いでのコミュニケーションを重視されてきましたか？

MURAKAMIGOもKENTも“PARTY NAKED”を始める前からの付き合いだし、普段も一緒にご飯に行ったり飲みに行ったりしてるので、そういう意味ではコミュニケーションがあるからいい方向に行っているのかなって思いますね。MURAKAMIGOにもKENTにもHASEBEさんにもそうですけど、基本的にあんまり迷って欲しくないなっていうのがあるんですよ。『やりたい』って思った事をやって欲しいというか。それぞれが個性を出す事によって、いい“PARTY NAKED”を作っていけると思うし、今の時代はDJの個性が前に出るパーティーじゃないといけないと思うんですよね。お客さんが増えてもあまり印象に残らなかったら、そのお客さんも結局はどこか他のパーティーに移って行っちゃうと思うから、盛り上げる事も大事だけど、パーティーの中でDJの個性を出すのも大事っていう共通認識を持ってやっていて。皆で意志統一してやれていると思うので、そういう意味ではコンビネーションはいいんじゃないかなって思ってます。

●“PARTY NAKED”を始めた頃からDJ KOMORIとしてのサウンド面では変化を遂げてきていると思います。そんな中で2013年には久しぶりにR&B MIXのリリースもありましたが、この2年間の音楽観の変化について教えてください。

いわゆる〈R&B DJ〉っていう形でキャリアをスタートしたわけですけど、3～4年くらい前からその〈R&B DJ〉ってカテゴライズされる事が自分の中で足かせになるというか、凄く制限されてしまうなって思うようになったんです。だからそれ以降、自分では〈R&B DJ〉っていう言い方はしてないんですよね。でも『今日からR&B DJを辞めます』『R&Bはかけません』っていうスタンスでは全くなかったし、僕の音楽のルーツはずっと90年代のR&Bだから、急に『辞めます』ってわけではなかったんですけど。昔からのファンにもついてきて欲しいなって思うところはあったので、その部分を凄く考えてきた2～3年でした。それは作品でもそうだし、普段のTwitterでもBlogでもFacebookでもSoundCloudでもそうだし、そういうところで自分の作品を通して発信したうえで、やっぱりコアなファンの人にもついてきて欲しいなって思って。ファンの人たちに『なんだ、KOMORI変わっちゃったね』って言われるのも嫌だし。

そうやって発信してきた事が、今になって実を結んできたのかなって思ってます。EDMに限らず、今のDANCE MUSICの大きい波っていうものに2～3年前に魅力を感じて、僕としては『もっと大きいフロアでやりたいな』『大きいステージに立ちたいな』っていうのがあったから、表現

の方法を変えてやってきたんですよ。そうやってやってきた結果、サマソニだったり全国の色々なデカいステージに立たせてもらえたから、そういう意味では目指したい方向に進んでこれているのかなって思いますね。自分の中ではその方向で手応えを感じてきていたので、去年の秋に2年ぶりくらいになるR&Bの作品を出したんです。自分的に一周できたなっていう思いがあったので、Manhattanと『R&Bの作品をやりましょう』っていう事になったんですね。普段からR&Bも普通に聴いているから、別に原点回帰っていうつもりもないし、作品として純粋に、昔のR&B好きのファンの人に喜んで欲しいなっていう意味合いを込めて作りました。

●最近ではTraktorを導入されましたが、DJ観の変化に関係していますか？

ソフトビジネス的な話になるんですけど、一つはScratch Liveがもうアップデートもサポートもしないという発表をSeratoがしたので、それでTraktorに完全に移行しました。前々からそうなるだろうなって思ってはいたので、制作では、1～2年前くらいからTraktorを使っていました。

DANCE MUSICの世界に踏み込む中で、いわゆるレコードからの感覚というか、右の曲をかけて左の曲をかけてミキサーでつないでいくっていう感覚を、自分の中で一回捨てなきゃいけないなって思ったんですよ。音楽は盤が回転してかかっているものでって思ってるかもしれないけど、ホントはもっと自由に扱えるもので、右と左を交互にかけなきゃいけないものでもないし、もっと変化させてもっと表現できるものなんだって3年前くらいから思うようになって。そこから色々と機材やソフトを試すようになって、相当色んな機材を使ったんですけど、その中では今Traktorが一番面白いというか、やりたい事が一番できる機材だって思います。だから今は完全にターンテーブルも使わないし、Traktor F1とX1 mk2っていうコントロール2つとPioneerのエフェクターRMX-1000を入れるセッティングになったんです。いわゆるライブマッシュアップに近いというか、曲をかけている中で色んなサンプリングの素材を入れたり盛り上げるフレーズを入れたりできるし、自由なタイミングで出せて自由にエフェクトがかけられるから、柔軟でかつクリエイティブな事ができるセットかなって思ってます。

DJをやっている人からも『何やってるか分かんない』って言われたりもするけど、自分としては難しい方向に行く気は全然なくて、エンターテイメントとして、光るバッドを使っている点も見ていて面白いっていうところに惹かれて。例えばElectroのトラックの上にマイケルの歌を乗せて、それをループさせて盛り上げるって事も思い付きでその場でマッシュアップできるし、ホントにもっともっと可能性の広がるものだと思うんですよ。

●元々、機材は好きですか？

そうですね。昔からですね。Scratch LiveでPCを導入するのも早かったし、それこそパソコンは小学校の高学年からやっていたし。小学校の1年生の夏休みの自由研究が〈ラジオを作る〉とかだったり(笑)。そういうのが元々好きだったから、楽しくやってます。

●楽曲制作において、海外のアーティストと多数共演されていますが、アーティストの選考基準を教えてください。

僕が今『この人とやりたいな』って思うのって、シンガーソングライターが多いんですよ。最近だとWynter GordonとかLil' Eddieとか。シンガーソングライターって自分で曲も詩も考えて歌も録ってくれるから、その方が世界観も伝え易いと思うんですよね。それに、そういう人たちって裏方的な経験もあるから、凄くレスポンスも早いんです。だから、海外のめちゃくちゃ有名なアーティストに莫大なお金を払って一緒にやろうっていうよりは、そういう方が一緒にクリエイトしてる感じで面白いんですよね。意志も伝え易いし曲のイメージも伝え易いので、そういう人と仕事する事が多いですね。

●日常において、現場と制作それぞれを意識する時間の割合を教えてください。

割合っていう程ははっきりと分かれてはいないですけど、最近DJとか音楽の事を考える時間は増えましたね。そうやって考える事自体が凄く楽しくて、それこそ“PARTY NAKED”でどういうアイディアを出そうかとか、どういうアイディアで曲を作ろうかとか、そういう事を考える時間がここ最近は増えたしそれに、思いついたアイディアを実践できるまでの時間も凄く短くなりましたしね。

それはSNSだったり制作する時のDTMの環境の時代的なものもあるんだと思うんですけど。そういうふうに、思いついたアイディアをすぐに実行できるスピード感が好きなので、色々考えてます。だから割合でいうと半々くらいなんですかね。自然の流れで、曲を作っている時に『あの曲のあの構成を参考にしてみよう』って思って新譜をちょっと聴いてみたり、『現場でこういうのやりたいな』って思ってDJの準備を始めてみたりするので、自分の中では境目なしに色々と行ったり来たりしてますね。

●普段はどのような音楽を聴いていますか？

いわゆる新譜チェック的な事が多いですかね。あとは昔からJohn Mayerが好きで、何も考えたくない時も何か考え事する時もJohn Mayerを聴いている事が多いです。

2013年に一番聴いたのは、たぶんUKのDisclosureとかですかね。今、UKのアンダーグラウンドから出てきているアーティストが〈未来型R&B〉っていう言い方もされてますけど、凄く面白くていいアーティストもたくさんいるので、そういうのをSoundCloudとかで見つけてきて、家で聴いている事が多いです。

●制作の醍醐味は何だと思いますか？

例えばMIX CDを作るのって、どれくらいの時間でどれくらいの事ができるっていうのは自分の中で計算できるんですけど、曲を作るってなると、そうもいかないんですよね。3日かけても曲の方向性すら見えない時もあれば、ホントに数時間で曲の骨組みができる時もあるし、〈降りてくる〉じゃないですけど、ひねり出た瞬間の楽しさっていうのは、DJ MIXとかMIX CDを作るのと比べると何倍も楽しいんですよね。自分で作って『これいいな』『Billboardで1位になるんじゃないかな』って思うくらいの瞬間も凄くあって(笑)。そんなふうに自分で思えるくらい、『これカッコいいな』って思える瞬間は何にも代える事ができないものだと思って。それを実際にかけて現場でウケるのはもちろん嬉しいんですけど、そこからまた『ああしたい、こうしたい』っていう課題は絶対に出るので、僕はどちらかというと現場でかけた時が最高に嬉しいというよりは、作っている瞬間がめちゃくちゃ楽しくて、ホントに寝食を忘れて、寝る間も惜しまずやってる事がありますね。

●SNSが発達した現在、曲をかけたり楽曲を作ったりという音楽家の要素以外の活動も重視されている状況についてどう思いますか？

現状、そういう流れになってきているので、それをやらなければ生き残れないだろうなって思っています。DJプレイが面白かったり選曲が面白い人って、やっぱり人間性も面白いし、考えている事も面白いと思うんですよ。DJって曲をかけるだけの職業に見えて、結局はパーソナリティーというか人間力が大事なんだなって思うようになりましたね。曲をかけるだけの職業だからこそ、そこに至るまでの哲学とかこだわりとかが必要だと思うんですよね。その〈こだわり〉って、何に対するものでもいいと思っていて、アナログに対するこだわりでもデジタルに対するこだわりでも、場を盛り上げる事に対するこだわりでも、選曲に対するこだわりでも、新譜に対するこだわりでも、それは人それぞれでいいと思うし、それが個性になるんだと思うんですよ。

今の時代って、やっぱり個性が重要で、その個性は現場だけでは伝えきれないと思うんです。これだけ情報が増えて、見る側にも選択肢が増えてきているんだから、『現場で新譜かけたからOKでしょ』とか『現場でカッコいい繋ぎしたからOKでしょ』とか、今はもうそういう時代ではないと思うんですよね。そこに至るまでのストーリーを皆求めていて、どうしてそういう考えに至ったのか、どうして今HIP HOPなのか、どうして今HIP HOPではないのか、そういう事を皆が知りたがっていると思って。そういう事まで表現しないと、新しいファンに対してなかなか刺激を与えられないなって凄く思うんですよ。例えばHIP HOPのDJにしても、現場によってはTOP 40をかけたりEDMをかけたりしますけど、じゃあ何で今HIP HOPのDJが他のジャンルの曲をかけるのか、またかけないっていう選択肢を取るのか、そこの部分を表現しなければいけないと思うんですよね。現場のプレイだけではなくて、お客さんにどうやって共感してもらうのか、どうやって伝えていくのかを考えたら、SNSなどを使って発信していく必要性ってあると思うんですよ。自分の音楽性はどういうもので、自分の音楽の基礎はどこにあって、『それで今こういう選曲をしているんだよ』っていうところまでお客さんに共感してもらわないと、今の時代ではついてきてくれるコアなファンって作れないんじゃないかなっていうのが僕の今の考えなんです。それこそSkrillexとかAviciiとかみたいに世界的なヒット曲を作れれば、それだけで二十歳そこそこでもワールドツアーもできると思いますけど、そうじゃないDJが99.9%なわけで、その中でどうやってインパクトを残すか、どうやってお客さんとコミュニケーションをとるのかって言ったら、その手段の一つとしてSNSがあるわけだし、10年前の事は一切忘れて表現して伝えていかないといけないんじゃないかなって思います。

パソコンで簡単に新譜が手に入るようになったから、片っ端からバンバン新譜をかけるよっていうのも違うと思うし、そこでお客さんに対してどれくらいの距離をもって『今こういうものを伝えよう』とか、逆にホントにコアなお客さんには半歩先の事を見せてあげようとか、そういうセレクトを含めて今の時代のDJだと思うので、必然的に現場だけじゃ表現し切れなくなるんですよね。一番いい形で表現する方法は曲を作る事だけど、DJ皆が皆楽曲を作る必要はないと思うから、動画でもエディットでもマッシュアップでも、それこそマイクを持つでも服を脱ぐでも何でもいいから、5年前、10年前のDJの感覚とはガラッと変えて、自分に合った方法を見つけて表現する事が、これからはマストになるんだろうなとは思います。

●フェスなどのクラブ以外の様々な活動が増えた今、現在の国内クラブシーンについてどう思われますか？

お客さん全体の数を見ると減ってるとは思わないんですけど、差別化っていう部分では難しくなってきているのかなって思いますよね。HIP HOPにしてもHOUSEにしてもTECHNOにしても、そのシーンの細分化が難しくなってきているし、そういう部分は全国的に目に見えてわかる変化ですよね。

その原因って、僕がいつも個人的に思っている原因は、スターがいない事なんじゃないかなって。スターがいないっていうのはDJ側の一番の責任だと思うし、それぞれのジャンルや土地にカリスマになるようなキャラクターが出てくれば、一つのムーヴメントが生まれると思うんですよ。カリスマ的な存在がいればそれについていくファンが増えて、そこを目指すDJが増えて、シーンができると思うので、そこまで引っ張る事ができるカリスマがいないっていうのは、自分も含めてDJの責任だと思っています。けど、小さいシーンを作っていく事が必ずしも大事かっていうとそういう事でもないと思うし、時代的にはフェスが増えて、『皆で楽しめる音楽をやろう』っていう流れになってきているのを見ても、そういう思いって世界共通のものだと思うんです。お客さんに喜んでもらうためとかお客さんにたくさん来てもらうために、料金を下げたり飲み放題にしたりっていうよりも、音楽を表現するプロとしてどうやって自分の音楽に対してお金を払ってもらうのかっていう事を、もっとシビアに考えなきゃいけないのかなって思います。繋ぎが上手いとか場を読むのが上手いとか、そういうレベルじゃなくて、もっとそれを超えるカリスマ性だったり音楽性だったり個性を身につけていかないと、お客さんはお金を払ってくれないシビアな時代なんじゃないかなって思います。

●海外のシーンの動向は気になりますか？

僕はあんまり気にならないですね。日本のDJの人って大きく分けて2パターンあると思うんですよ。海外シーンに憧れてそこをフォローしてDJを頑張って『海外で活躍する事が夢です』っていうタイプの人と、自分の音楽をやりたくてDJをやって自分の感性とかセンスでパーティーをやって、NYとかイビザとかどこか他のところに理想のパーティーがあるわけではなくて自分の感覚でやりたいっていうタイプの人と、この2パターンに大きく分かれると思うんですけど、僕は完全に後者なんですよね。海外の好きなDJのプレイリストとかはチェックしますけど、誰かが何かをしてたからって自分が大きく変わる事は今までもなかったし、これからもないんじゃないかなって思いますね。

●DJ KOMORIさんがHARLEMでレギュラーパーティーを持つ意義を、ご自分ではどう感じていますか？ また、HARLEMというクラブから何を発信したいと思いますか？

大義名分はないですけど、単純にHARLEMは一番好きなクラブだし、一番長くやらせてもらってるクラブだし、DJの回数も僕の中では凄く多いクラブだから、『新しい事を発信するのはやっぱりHARLEMから』っていう気持ちはあります。今のHARLEMのレギュラー陣の中では、僕は色んな現場に幅広く出ている方だと思うので、そういう刺激を持って帰ってきて、他のDJとかスタッフとかにも『こんな面白い事があったよ』とか『こんな面白いDJがいたよ』っていうふうに伝えていけたらいいと思ってます。やっぱりHIP HOPが軸のHARLEMっていうのは変わらないと思いますけど、HARLEMから見た時のいいスパイスであり続けたいなって思いますね。

●KOMORIさんが思うクラブの魅力とは何ですか？

最近、Twitterで凄く反響があった事があって。『女性から「クラブ卒業した」的なセリフ聞くといつも残念でならない。仕事や出産の都合なら仕方ないけど、年齢気にして好きな事やめるなんて。飲みたい酒飲んで踊ってタクシーでサクっと帰るとか、大人なら大人の遊び方すればいい。クラブには遊び方の上手い大人たくさんいるから仲良くなればイイよ』ってTwitterで言ったら凄く反響があって、すごい何百件っていうRTとフェバリットが付きました。クラブって、若い子たちが遊んでエネルギーがある場所に見えると思うんですけど、実際に雰囲気を作ってるのって一部の遊び方を知っている大人だったりもして、そういう人たちが人脈を作りにとか懐かしい仲間と集まりに来てたりするじゃないですか。そういうのがDJから見ると『いい空間を作ってくれてるな』って思うんですよね。そういうお客さんが若くて元気な子をつかまえて色んな人に紹介していって、そこからまた人脈が広がっていったりもするので、クラブはそんな場所であって欲しいなって。

さっきのTwitterの話に戻ると、男女関係なく、『最近子供ができてクラブに行けなくなったけど、落ち着いたらまた“Apple Pie”に行きたいです』『子供が大人になったら一緒に“Apple Pie”に行きたいです』って言ってくれるお客さんもたくさんいて、それって凄い事だなって。ともすればクラブって子供を連れて来たくない場所っていうイメージもあると思うんですけど、“Apple Pie”とかHARLEMってそうじゃなかったんだなって思うと、ホントに嬉しい話だなって思います。僕も勇気づけられたし、『子供と遊びに行きたいので、あと15年頑張って続けてください』とか言われると、ホントに頑張らなきゃなって純粋に思いましたね。それが一人二人ではなくて結構な数いたので、ホントに嬉しかったです。だから、皆も年齢構わず、いつでも遊びに来てくれたらなって思ってます。

●2014年の展望と抱負をお願いします。

制作でも現場でもトータルでそうなんですけど、自分から発信する人でいたいなって思ってます。それは単純に新しい曲をかけるとか最新の音をかけるとか、誰もやった事のないようなパーティーをやるっていう事だけではなくて、現場現場で一つ一つ、ほんの小さな事でも新しいものにチャレンジして、お客さんに刺激を与えていきたいなって思いますね。

お客さんがパンパンに入っているようなパーティーでも、選曲の事が全く話題になっていない事ってあるし、一方で小さいクラブでも凄く面白いDJが集まってお客さんの全員が『あのパーティー面白かったよね』『あのDJあんな事やったよね』って話題に残るものもあるじゃないですか。大きなフロアでプレイするっていう目標が実現はしつつあるんですけど、その中でちゃんと発信できるDJでありたいし、ちゃんと表現できて記憶に残るDJでいたいなって思ってます。そういう意味では、現場だけでなく作品でも面白い事をやっていきたいなって思って、色々考えて準備中です。

●読者にメッセージをお願いします。

12月20日に僕のMIX CD "Collage THREE" がリリースされました。これは今の新しいDANCE MUSICを中心にHOUSEだったり僕の新曲だったり色々入ってます。AZUL by moussyのショップ限定でリリースされますので、是非、全国のAZUL by moussyでお買い求めください。

HARLEMでは“PARTY NAKED”と“Apple Pie”を中心に、皆の記憶に残るパーティーをやりたいなと思っているので、それが必ずしもお行儀のよいものではないかもしれないけど、是非、年齢、性別問わずいつでも遊びに来てください。

- DJ KOMORI “BEST 3 TUNE”
“Satellite” - Cash Cash
“Payback” - Sandro Silva
“Fantasy & Cry No More” (2014 NEW TRACK)
- DJ KOMORI

HARLEM
www.harlem.co.jp

PARTY SCHEDULE

2014 JAN 01 - FEB 02

SUN

29 AMAZING SUNDAYZ
"年末スペシャル PART.3"
HIP HOP & ALL MIX
[D] HAZIME, SAH, ALAMAKI
BX CAFE
[D] SAFARI
OPEN. 22:00 ¥3,000/1D

5 AMAZING SUNDAYZ
"大・新・年・会 ～其の参～"
HIP HOP & ALL MIX
[D] HAZIME, SAH, ALAMAKI
[D] HASE
OPEN. 23:00 ¥2,500/1D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

12

19 AMAZING SUNDAYZ
HIP HOP & ALL MIX
[D] HAZIME, SAH, ALAMAKI
[D] MEDICINE
OPEN. 23:00 ¥2,500/1D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

26 AMAZING SUNDAYZ
HIP HOP & ALL MIX
[D] HAZIME, SAH, ALAMAKI
[D] SHEIKER
OPEN. 23:00 ¥2,500/1D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

2 AMAZING SUNDAYZ
HIP HOP & ALL MIX
[D] HAZIME, SAH, ALAMAKI
[D] HASE
OPEN. 23:00 ¥2,500/1D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

MON

30 HIGH LIGHT
HIP HOP & ALL MIX
[G] WATARAI, LEAD
SPECIAL DANCE SHOWCASE
BX CAFE
[G] KOMORI
OPEN. 22:00 ¥3,000/1D

6

13

20 SORRY... CLOSED

27 SORRY... CLOSED

3 SORRY... CLOSED

TUE

31 BASH IN HARLEM 2013-2014
HIP HOP & ALL MIX
HARLEM DJ ALLSTAR:
HAZIME, WATARAI, KOYA, KANGO, KOMORI, SAFARI, SAH, RYO, ALAMAKI, KEN-SKE, MASTERPIECE SOUND
[V] CANSER
OPEN. 21:00 ¥3,000/1D *
* till 23:00. ¥2,500/1D (with flyer) *

7

14 RED ZONE
HIP HOP & ALL MIX
[D] KOYA, KANGO
[D] TAISUKE
BX CAFE
ROYAL FLUSH "V.I.P. SERVICE"
[D] KEN-SKE, SHEIKER, TAKA, YUK1, MAME
GO GO DANCER: CHIHO, LIE
V.I.P. SEAT FEE ALL NIGHT ¥20,000
include: 1sparkling wine bottle
OPEN. 22:00 ¥3,000/1D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

21 RED ZONE
HIP HOP & ALL MIX
[D] KOYA, KANGO
[D] BOBBY
BX CAFE
ROYAL FLUSH "AMERICAN POP"
[D] KEN-SKE, IPPEI, GIANN, HIGH
OPEN. 22:00 ¥3,000/1D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

28 RED ZONE
HIP HOP & ALL MIX
[D] KOYA, KANGO
[D] TSUKASA
BX CAFE
ROYAL FLUSH "VANDALISM"
[D] KEN-SKE, U-LEE (STUSSY), TSUBASA a.k.a. JAM (XLARGE®), MONCHI (PRODUCT)
OPEN. 22:00 ¥3,000/1D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

4 RED ZONE
"13TH ANNIVERSARY SPECIAL"
HIP HOP & ALL MIX
[S] STRETCH ARMSTRONG from NYC
[D] KOYA, KANGO
[D] SHEIKER
BX CAFE
ROYAL FLUSH "AMERICAN POP"
[S] STRETCH ARMSTRONG from NYC
[D] KEN-SKE, IPPEI, GIANN, HIGH
OPEN. 22:00 ¥3,000/1D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

WED

1/1 PARTY NAKED NEW YEAR RISING UP PARTY
ALL PARTY MUSIC
[D] KOMORI, MURAKAMIGO
[D] TAK
OPEN. 22:00 ¥2,500/2D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

8

15 PARTY NAKED
"DJ MURAKAMIGO BIRTHDAY BASH!"
ALL PARTY MUSIC
[D] KOMORI, MURAKAMIGO
[D] MarT
OPEN. 22:00 ¥2,500/2D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

22 PARTY NAKED
ALL PARTY MUSIC
[D] KOMORI, KENT
[D] YOKOYAMA
OPEN. 22:00 ¥2,500/2D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

29 PARTY NAKED
ALL PARTY MUSIC
[D] HASEBE, KOMORI
OPEN. 22:00 ¥2,500/2D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

5 PARTY NAKED
ALL PARTY MUSIC
[D] KOMORI, MURAKAMIGO
[D] TAK
OPEN. 22:00 ¥2,500/2D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

THU

2 SORRY... CLOSED

9

16 DANCE HOLIC
HIP HOP & ALL MIX
[G] SAFARI
[D] SHEIKER, TAK, YUK1, AZUMA
[G] S+AKS, PLAYERS,INC, SUGA hoes (YU+TAICHI+sho-ta+CHALI+YU-TA), J.O!!
[M] YOU-KID
BX CAFE
[G] HAL
[D] IPPEI
OPEN. 22:00
¥3,000/1D ¥2,500/1D (with flyer)

23 POP THAT
HIP HOP, R&B & REGGAE
[D] 8MAN, NUCKEY, TY-KOH, YAB LOVE, CHARI, RAM, TWEETY, L-SSYDE, KENT-MAN, SHIMPEI
[G] NAOTO (LYRICAL THANKS) + HiDE (S.O.D) + Mio (MO-BLOW) + MASK (CROSS COLOURS DANCERS) + MIKA (CraZy Queen)
GO-GO DANCERS: MIE, EMI, YAHIRO, YUYU
OPEN. 22:00
¥3,000/1D ¥2,500/1D (with flyer)

30 Mo' Phat Party presents TAKUYA Birthday Night!! BIG HUG!!
ALL DANCE MIX
[D] MASAYA, OBA, Changyama & Andre and more...
SPECIAL DANCE SHOWCASE: TAKUYA and Special Dancers!!
OPEN. 22:00
¥3,000/1D ¥2,500/1D (with flyer)

6 DANCE HOLIC
HIP HOP & ALL MIX
[G] SAFARI, HAL
[G] CHECK THE FLYER
[M] YOU-KID
OPEN. 22:00
¥3,000/1D ¥2,500/1D (with flyer)

FRI

3 HAZE
"大・新・年・会 ～其の壱～"
HIP HOP & ALL MIX
[D] WATARAI, RYO, ALAMAKI
[D] TAKU, TAKA, GIANN
BX CAFE
BLACK HAZE
[D] SAH, SHUNSUKE
[D] TSUKASA, HIGH
先着50名様にDJ TSUKASA BLACK HAZE EXCLUSIVE MIXをPRESENT!
OPEN. 22:00 ¥3,000/1D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

10

17 HAZE
HIP HOP & ALL MIX
[D] WATARAI, RYO, ALAMAKI
[D] TAKU, IPPEI
BX CAFE
BLACK HAZE
[D] SAH, SHUNSUKE
[D] TSUKASA
OPEN. 22:00 ¥3,000/1D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

24 HAZE
HIP HOP & ALL MIX
[D] WATARAI, RYO, ALAMAKI
[D] HIRO, SELECT
BX CAFE
BLACK HAZE
[D] SAH, SHUNSUKE
[D] WATAYOSHI
OPEN. 22:00 ¥3,000/1D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

31 HAZE
Manhattan Records presents
"THE HITS 6 mixed by DJ TAKU Release Party"
HIP HOP & ALL MIX
[D] WATARAI, RYO, ALAMAKI
[D] TAKU, IPPEI
BX CAFE
BLACK HAZE
[D] SAH, SHUNSUKE
[D] TSUKASA, SELECT
OPEN. 22:00 ¥3,000/1D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

7 HAZE
HIP HOP & ALL MIX
[D] WATARAI, RYO, ALAMAKI
[D] TAKU, TAKA
BX CAFE
BLACK HAZE
[D] SAH, SHUNSUKE
[D] TSUKASA
OPEN. 22:00 ¥3,000/1D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

SAT

4 MONSTER
"大・新・年・会 ～其の弐～"
HIP HOP & ALL MIX
[D] WATARAI, KANGO, SAFARI
[D] KAZ, HIDEMI, SHINOBU
BX CAFE
SOUL FOOD
[D] 下拓
OPEN. 22:00 ¥3,000/1D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

11

18 MONSTER
MAIN FLOOR: HIP HOP & ALL MIX
BX CAFE : R&B
[D] WATARAI, KOYA, SAFARI
[D] KAZ, HIDEMI, SHINOBU
BX CAFE
Apple Pie
[D] HARUKI, KOMORI, Mike-Masa
OPEN. 22:00 ¥3,000/1D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

25 MONSTER
HIP HOP & ALL MIX
[D] HAZIME, KANGO, SAFARI
BX CAFE
SWITCH
[D] KAZ, HIDEMI, SHINOBU
OPEN. 22:00 ¥3,000/1D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

2/1 MONSTER
HIP HOP & ALL MIX
[D] WATARAI, KANGO, SAFARI
[D] KAZ, HIDEMI, SHINOBU
BX CAFE
SOUL FOOD
[D] 下拓
OPEN. 22:00 ¥3,000/1D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

8 MONSTER
MAIN FLOOR: HIP HOP & ALL MIX
BX CAFE: REGGAE
[D] HAZIME, KOYA, SAFARI
[D] KAZ, HIDEMI, SHINOBU
BX CAFE
SUPA DUPA SATURDAY
HOST SOUND: MASTERPIECE SOUND, POWER PLAYERZ
OPEN. 22:00 ¥3,000/1D
* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *

"NEW YEAR HOLIDAYS" 2014.1.6.MON - 1.13.MON

PARTY START TO 2014.1.14.TUE "RED ZONE" >>>

[D] : DJ
[M] : MC
[G] : GUEST DJ
[S] : SPECIAL GUEST
[L] : LIVE
[d] : DANCE SHOW CASE
[V] : VJ
[O] : OPEN UP DJ
[H] : HOST
[★] : INFORMATION
BX CAFE : HARLEM 3RD FLOOR

PICK UP PARTY

2014 JAN 01 - FEB 02

EVERY TUESDAY: RED ZONE

RESIDENT DJ: KOYA, KANGO

東京発信、世界水準のPARTY “RED ZONE”。
最先端の潮流を取り入れながらオリジナルなスタイルを展開し、国内外から広く話題を集める。2001年よりスタートし今年14年目に突入。

2/4はRED ZONE 13TH ANNIVERSARY SPECIAL!!!
SPECIAL GUESTにはもちろんRED ZONE創成期よりNYCからLINKし続けてきた御大DJ STRETCH ARMSTRONGがこの夜の為だけに来日。
文句無しのSETを披露してくれることだろう。
HARLEMのみならずBX CAFEでのPLAYも決定！

※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場する事ができます。

EVERY TUESDAY at BX CAFE: ROYAL FLUSH

RESIDENT DJ: KEN-SKE

HIP HOPを軸としながらも、ジャンルに捕らわれずCLASSICSからその時代を切り取るSMASH HITSまでダンスミュージック全般を幅広くカヴァー。REDZONEの階上をHOTに演出。
第１週目は "ROYAL FLUSH -EXCLUSIVE DANCE MIX-"。
要注目のTEAMがBX CAFEならではのEXCLUSIVE SHOW CASEを披露。
２週目はV.I.P.SEATをカジュアルな価格でご提供。普段味わえないLuxuryなひと時を是非。
３週目はAMERICAN POP！ HIP HOPにとどまらず、往年のPOPSから最新のDANCE MUSICを大胆にクロスオーバー!!
４週目はストリートファッションを牽引するアパレルショップのSTAFFたちがDEEJAYING。

※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場する事ができます。

DJ STRETCH ARMSTRONG “BIOGRAPHY”

DJとして成功を収める秘訣の一つは、どれだけ観客の心を理解できるかにある。Stretch Armstrongは、ラジオでの人気を集める以前に、クラブDJとして観客の心を掴むスキルを身につけていた。どんなCrowdでも彼の虜になってしまうという優れた才能を持つ彼は言う。『オレは自分の事を頭の良いDJだと思っているんだ。オレはどんな客とでも心を通わせる事ができる。だから、ゲイパーティーのHouseでも、ハードコアなHip Hopのパーティーでもオレにとっては関係ない。それに昔は、ジャンルがそんなに分かれていなかったんだよ…。』

彼は、1990年の冬からColombia大学のラジオ局WKCRで（89.9FM）で自身の番組をスタートさせる。木曜夜1時から5時までの4時間、最新のHip Hopヒット曲から、Break Beats、Classics、Free Styleを織りまぜた彼のDJ Mixと共演のBobbitoとの軽快でなおかつ歯に衣着せぬトークで人気を集めた。この番組は着実にファンを増やしていき、そのShowを録音したテープはあっという間に世界中に拡がっていく。しかしそんな中でも彼は、周囲の意見に惑わされることなく、ストリートが求めているものだけをかけ続け、8年間の放送期間でストリートの心をしっかりと掴んだのだ。
コマーシャル中心のRadio Showは一過性の熱狂に過ぎないものと考え、他のDJ達がラジオでのオンエアをためらうような音楽でも、彼はアンダーグラウンド、そして『良い音楽』にこだわって自分のShowを創っていた。まだ有名になる前のNasやDMXも1991年にこの番組に出演。またNotorious B.I.G.、Jay-Z、Nas、EminemらHip Hop界の伝説的アーティストや、Mobb Deep、Brand Nubian、DITC、Big L、Wu-Tang Clan、Busta Rhymesなど現在ではHip Hopを語る上で欠かせないアーティストの多くがStretchの番組でブレイクのきっかけを手にした。まさにStretchなくしては全ての「伝説」は有り得ないのである。
当時誰も挑戦しようとは思わなかった、Mobb Deepとのレコード契約を果たしたのも、当時LOUD RecordsでA&Rとして働いていたStretchである。その他にも、Lil'Kimの最初のヒットであり、当時新人スターであったJay-Zをfeat.した"Big Mamma Thang"をプロデュースするなど、その活動の幅は広い。また、世界的なクラブヒットとなったBIG NOYD "USUAL SUSPECTS" のStretch Armstrong Remixは彼の存在をさらなる次元へと導いた傑作である。
彼は現在、ラジオの活動は全て止め、クラブでのDJと自身のレーベル所属アーティストのプロデュースとマネージメントに専念しているという。『今でも、もちろんHip Hopに対する愛は変わらない。ただ古いもの、新しいもの、そしてジャンルに関わらず良い音楽を聴き分ける耳を持ち、それを人々に提供する事が出来るのが素晴らしいDJの定義だと信じているからね。』と語る。
そのスタイルを変えない限り、Stretchはこれからも成長し続けるだろう。彼は、その才能と質の高いMixによって、全ての人種・国境をも超越したTop DJとなり、これからもその頂点に君臨し続けるのである。

EVERY WEDNESDAY: PARTY NAKED

DJ KOMORIを中心に、1st／3rdは名古屋よりDJ MURAKAMIGO、2nd／4thは大阪よりDJ KENT、そして5thのスペシャルにはDJ HASEBEを迎えて、各DJがジャンルレスなダンスミュージックを発信する太陽系随一のインディペンデント・ディスコ！
日常のクラブでは刺激が足り無くなってしまった真のパーティー・ピープル達へ捧げます!!
1/15はDJ MURAKAMIGO BIRTHDAY BASH!
日頃の感謝とともにこの日はMURAKAMIGO以上のテンションで主役と一緒にバッチリもりあがっちゃお〜☆

※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場する事ができます。

L>R: KOMORI, MURAKAMIGO, KENT, HASEBE

EVERY FRIDAY: HAZE

RESIDENT DJ: WATARAI, RYO, ALAMAKI

クラブシーンと音楽、アート、ファッション等のカルチャーを発展させ、様々な情報や人種が集まる「New York」を強くイメージ。
WATARAI, RYO, ALAMAKIが「Tokyo」に本物の “The Club” を創り上げる。
1/31は "Manhattan Records presents THE HITS 6 mixed by DJ TAKU Release Party" を開催。

※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場する事ができます。

L>R: RYO, WATARAI, ALAMAKI

EVERY FRIDAY at BX CAFE: BLACK HAZE

RESIDENT DJ: SAH, SHUNSUKE

BX CAFEでしかできないLUXURYな空間演出の中で、BLACK MUSICが持つ醍醐味を最大限に味わうことができるPARTY。DJ、MCが創り上げるフロアにGO GO DANCERが華を添える。

※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場する事ができます。

SHUNSUKE, SAH

TRADE MARK
Heineken®

EVERY SATURDAY: MONSTER

HARLEMの音の根幹をなすREGULAR PARTYを牽引する5TOP DJ、HAZIME, WATARAI, KOYA, KANGOそしてSAFARIが一堂に集まり土曜日を完全燃焼させる "MONSTER"。
圧倒的なパワーと爆発力で他の追随を許さない。
5th sat.には世界的に活躍するDJ LEADが登場。

※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場する事ができます。

EVERY SUNDAY: AMAZING SUNDAYZ

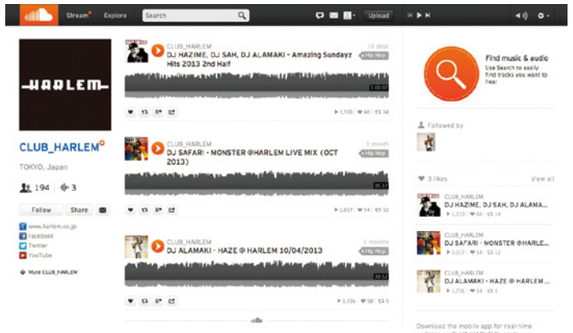
RESIDENT DJ: HAZIME, SAH, ALAMAKI

HIP HOPを中心にDJによって網羅された最速の新譜がフロアを揺らす “AMAZING SUNDAYZ”。
2013年よりスタート、日曜日という要素も相まってよりコアな客層が多く集まる。

※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場する事ができます。

L>R: ALAMAKI, SAH, HAZIME

HARLEM “SoundCloud”



soundcloud.com/club_harlem

1.16.THU DANCE HOLIC

HARLEM MAGAZINEをご愛読の皆さま!! 新年明けましておめでとうございます！
2014年もダンホリよろしくお願いいたします！
2013年のダンホリで大トリを飾ったS+AKSが2カ月連続でダンホリのステージに登場!!
さらにPLAYERS,INCのKO-TANGがBIRTHDAYに相応しく舞います！ 散ります！
1月のダンホリは第１木曜日ではなく、第３木曜日に開催いたします!!
新年を飾るに相応しい豪華メンバーで、箱根駅伝以上の感動をお届けします！
一富士二鷹三ダンホリてな具合で2014年も縁起良くダンホリでスタートしまSHOW!!

1.23.THU POP THAT

説明不要！ 次世代のDJが集まったNEW PARTY!! POP THAT!!
メンツをみれば分かる現在進行形のHIP HOP PARTY！
HARLEMでしか見れない豪華なPARTYです。NYの最先端なPARTYを意識したイベント！

1.30.THU Mo' Phat Party presents... TAKUYA Birthday Night BIG HUG!!

Club×Music×Dance好きなパーティーピーポー達が集い、東京の夜を盛り上げている、『Mo' Phat Party』＝『最高のパーティー』。
今年最初の開催はダンスシーンの重要人物！ TAKUYAのバースデーナイトで盛り上がります!!
ShowやBattleでは常にその存在感に一目をおかれ、今もなお進化し続けている日本のトップダンサー!! 40歳という節目でのパーティーはスペシャルな出演者が続々と決定!!
本物の現場を知り尽くした名実共に日本を代表するダンサーと、注目のネクストダンサーによる "Special Dance Showcase" は圧倒的なSTAGEでオーディエンスを魅了すること必至！ ダンスシーンの最先端を見逃すことはできません！
最高の音で特別な夜を演出するDJにはHARLEMではなかなかお目にかかれない、こちらもスペシャルなメンツが決定!!
新古問わず、地域性の壁を越えて、音楽をいろんな形で感じ、楽しんでほしいです！ 刺激的な夜をお楽しみに。
誰もが楽しめる "PARTY＝クラブライフ" をお届けします！
この日は間違いなく最高の夜になることマチガイナシ!!

Mo'Phat Party

1.4 & 2.1.SAT at BX CAFE SOUL FOOD

第１土曜BX CAFEと言えば〈SOUL FOOD〉!!
大阪で活躍するDJ 下拓を中心に全国各地で活躍するDJを招待する新しいスタイルのイベント！ 東京に居ながら大阪と各地の空気を感じられるこのパーティー、見逃せません！

1.18.SAT at BX CAFE Apple Pie

第３土曜日のBX CAFEといえばTOKYO NO.1 R&B PARTY **“Apple Pie”**☆
皆さんを音でハートまでメロメロにしてくれるのは、**DJ HARUKI、DJ KOMORI**そして**DJ Mike-Masa**！
ゴールデントライアングル、リンゴにハチミツでBX CAFEをDress Up♪
R&B makes you Happy♪

1.25.SAT at BX CAFE SWITCH

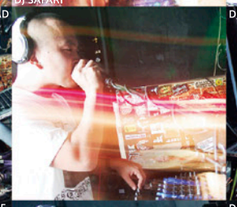
第４土曜日のBX CAFEに移りさらにパワーアップして開催されている “SWITCH”!!
RESIDENT DJには毎週土曜日のMONSTERで卓越したプレイを披露するDJ KAZ, DJ HIDEMI, DJ SHINOBUの三人を迎え、華やかで誰もが楽しめる唯一無二の空間を演出!! 業界注目度ナンバーワンパーティーです！ 是非お越しください！

2.8.SAT at BX CAFE SUPA DUPA SATURDAY

毎月第２土曜は超満員御礼パーティーでおなじみ “SUPA DUPA SATURDAY” @BX CAFE。HOST SOUNDは説明不要の東京人気サウンド、MASTERPIECE SOUNDとPOWER PLAYERZ!!! REGGAEはもちろん、HIP HOP、R&Bの最新HIT TUNEから古き良き懐かしの名曲まで、幅広い選曲でガッチリ朝まで盛り上げてます!!!
美味しいお酒と最高の音楽で素敵な出会いをお約束♪
2014年もかっ飛ばし続けるスパサタをよろしくです!!!

DJ SAFARI

DJ KEN WATANABE
DJ LEAD
DJ A-KAY



DJ HAZIME
DJ SHUNSUKE

JAZEE MINOR
YOUNG FREEZ
MATCH

11.30.SAT “MONSTER” / BX CAFE “BIG PAYBACK”
第５週目はHOT.97での活躍でさらに世界から注目を集めるDJ LEADが登場！ 切れ味鋭いタンテ捌きにスリリングな展開、マイクでの煽りでフロアのボルテージはMAX!!
BX CAFEではBIG PAYBACK、こちらはLIVE SHOWもありFRESHな才能を感じるアーティストがその実力でせめぎあった。

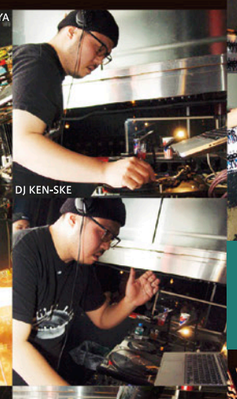
DJ ALAMAKI
DJ HAZIME
DJ SAH

BULL&YOU-KID

12.1.SUN “AMAZING SUNDAYZ”
DJ HAZIME『AIN'T NO STOPPIN' THE DJ VOL.2』も11月末に発売され巷で日本語HIP HOPが溢れる中、アメサンでは若き才能BULL & YOU-KIDがSHOT LIVEで収録曲をKICK！
年末にかけて盛り上がりをみせるなか、メインストリームでもさらに濃ゆ〜いHIP HOPをお届けしているAMAZING SUNDAYZ、燃え上がってます！

DJ KOYA

DJ KANGO
DJ KEN-SKE

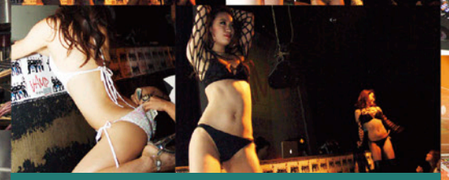

12.3.TUE “RED ZONE” BX CAFE “ROYAL FLUSH -EXCLUSIVE DANCE MIX / DJ KEN-SKE B.D.BASH!-”
HAPPY BIRTHDAY DJ KEN-SKE！ この日BX CAFEはDANCE SHOWあり、スペシャルカレー?! あり、シャンパン飛びまくりーの、お祝いモード全開でみんなKEN-SKEと乾杯♪ もちろんメインフロアのRED ZONEではKOYA & KANGOのPLAYで真冬突入とは思えない程の熱気が店内を包みました。

DJ KOMORI

DJ MURAKAMIGO

12.4.WED “PARTY NAKED” 疾走感あるBPMのトラックで師走のスタートを切ったPARTY NAKED。今月号の巻頭を飾ったDJ KOMORIのスタイルが随所に感じられ、様々なジャンルをMASH UPして構築されるフロアに中毒者となるパーティーピーポー続出です！
１月１日の元旦も "NEW YEAR RISING UP PARTY"と題して盛大に新年を祝っちゃいます♪

12.5.THU “DANCE HOLIC -年末SPECIAL-”
ダンホリも年末ver.としていつにも増して豪華な出演陣でスペシャルなDANCE SHOWCASEを演出。
渋谷、東京に留まらず全国で活躍するDANCERが次々にACT。
総勢11組が華やかにステージを飾った後はDJ SAFARI、DJ HALの洗練された選曲と勢いのあるMIXでさらに踊れる音にフロアに人が溢れた。
DJ HAL
DJ SAFARI
MC YOU-KID



DJ KIXXX
DJ DARUMA & JOMMY
DJ HABANERO POSSE
DJ ALAMAKI
12.12.THU “VAMP”
HIP HOP×BASS MUSICという新機軸をコンセプトにKICK OFFしたNEW PARTY "VAMP"。DARUMA, HABANERO POSSE, ALAMAKI, KIXXXと普段のHARLEMではなかなか観れない組み合わせに業界関係者も多く集まった。
DJブース前に設置されたステージでのGOGO DANCEも見事にその音と融合したまさに新感覚の一夜となった。

DJ SHUNSUKE

DJ ALAMAKI

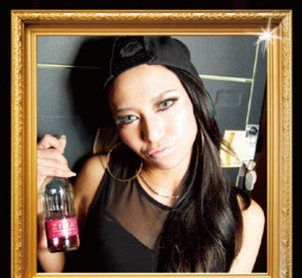
DJ RYO

DJ SAH

DJ WATARAI

12.13.FRI “HAZE” / BX CAFE “BLACK HAZE”
最先端のCLUBシーンを牽引するNYを踏襲したNIGHT PARTY STYLEで展開する "HAZE"。HIP HOPを中心に誰もが踊れるキャッチーな曲から発表されたばかりのNEW REMIXまで巧みにMIXしFRIDAY NIGHT ONLYの空間を演出。
BX CAFE "BLACK HAZE"との音の立体交差も魅力のひとつ。是非体感してみては?! 中毒者続出の金曜日を是非。

2013 HARLEM GIRLS SPOTLIGHT AWARDS



TRADE MARK
Heineken®
SERVED
EXTRA COLD

enjoy. responsibly

ボトルで楽しむ
0°C 以下の
ハイネケン

Heineken Extra Cold

STOP! 未成年者飲酒

ストップ！未成年者飲酒・飲酒運転。お酒は楽しく適量で。
妊娠中・授乳期の飲酒はやめましょう。
ハイネケン・キリン株式会社　www.heineken.com/jp　画像はイメージです。

VANISHING POINT EX.

Written by HASHIMO2

新年おめでとうございます。2014年も〈VANISHING POINT〉はモツの独断と偏見で好き勝手に書いて行こうと思っておりますのでもうしばらくの間お付き合い宜しくお願い致します。余談になりますが、2013年度日本カー・オブ・ザ・イヤーでは“VW”の7代目「GOLF」が選ばれたそうで、34回目をむかえる日本カー・オブ・ザ・イヤーの歴史の中で外国産の車が1位に輝くのは初めてだそうです。ゞうもモツです。

今回は言わずと知れた車好きでモーターショーには欠かさず顔を出し、新車ネタまでも網羅する程の車好きのDJ WATARAIさんと共に東京ビックサイトで行われた『東京モーターショー 2013』に行ってまいりました。ド平日の月曜日に行ったのですが、もの凄い人の多さで今回の東京モーターショーの関心の高さに驚きました。

会場に入り本命の展示ブースに行くまで欧州車から外車をチェック、日本カー・オブ・ザ・イヤーを獲った“VW”のブース、“PORSCHE”に“BMW”、“BENZ”、“AUDI”など欧州車メインで外国車ブースだけでもかなり楽しめました。そして、モーターショーに行く前から話題になっていた水素で走る車「FCV CONCEPT（燃料電池車）」を展示していた本命"TOYOTA"のブースに向かいました。最近のエコカーと言えばガソリンエンジンと電気モーターの2種類の動力で走る車「ハイブリットカー」、完全に電気モーターだけを動力として車を動かす「電気自動車」が代表的。それらを上回るエコカー「FCV CONCEPT」とはどういったものなのか？ そもそも水素で走る燃料電池車とはどういった車なのか？ 簡単に言うと、燃料となる水素と空気中から取り入れる酸素で化学反応を起こし電気を生み、その電気で車の動力となるモーターを動かすという原理です。ガソリンでエンジンを動かす場合には エンジン内でガソリンと空気を取り込み圧縮し爆発させ動かします。その際にCO2等が排気ガスとして出てしまいますが、水素の場合は水素と酸素で何が出来ますか？ そうです H2Oです。排出されるのは水だけなのです。石油のように限られた資源ではなく、水素は水や天然ガスなど色々な物質に含まれている資源なので、資源サイクルさえきちんと整えばほぼ無限に使えると言う最大の利点がこの技術に詰まっている訳です。

しかし課題も沢山残っています。それぞれ一般層に受け入れられる車両本体の値段設定ができるのか、水素インフラはしっかり整うのか、水素の値段が幾らになるのか、がソリンスタンドのように水素スタンドがどのくらい建つのかなどなど…。これらの課題をクリアにしていけば、まさに次世代の“車”であり、ニュースタンダードとなり得ます。さらに地球に優しい究極のエコカーであることは間違いないと誰もが思うことでしょう。

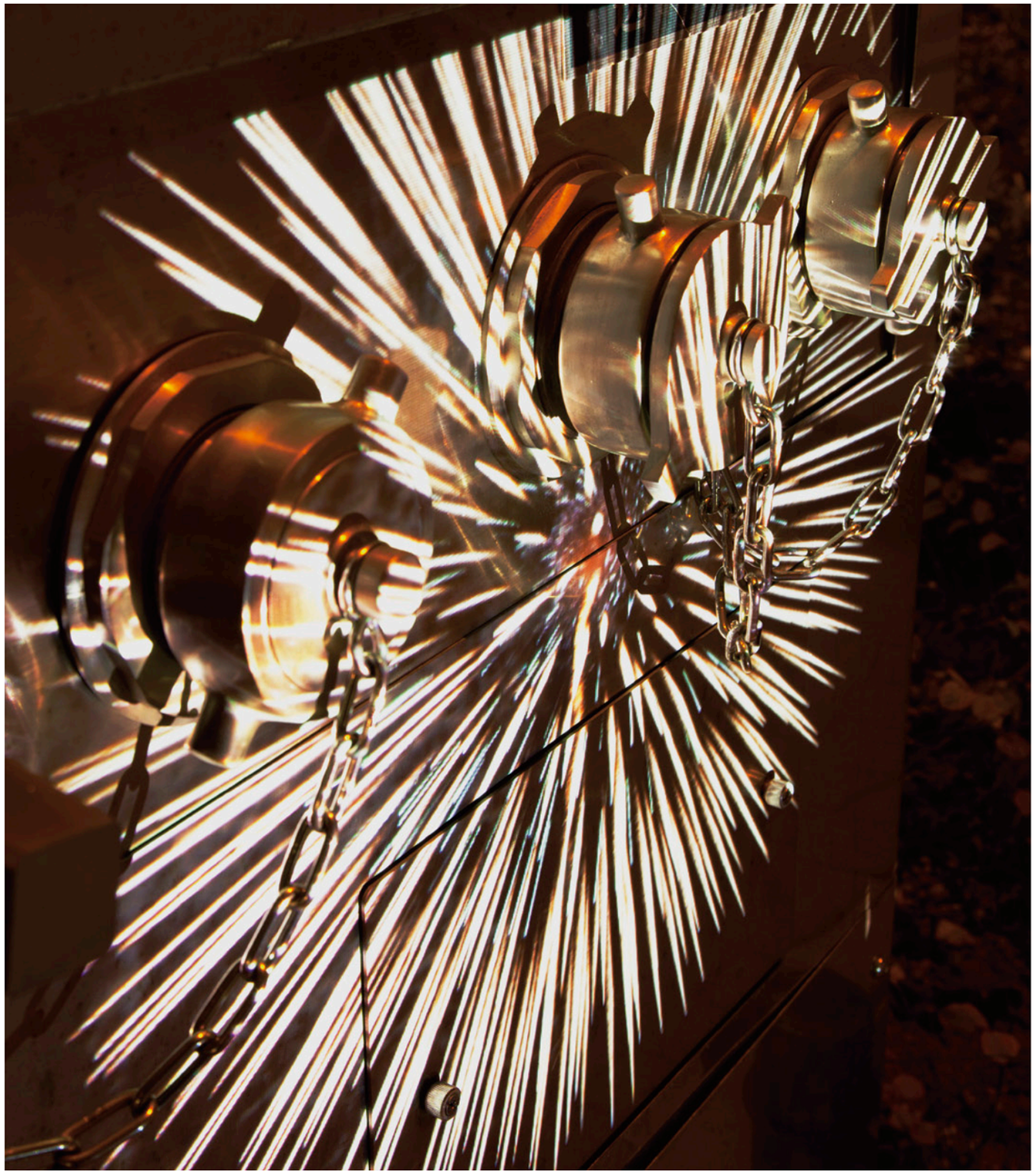
初体験の東京モーターショーはモツにとってとても刺激的でした。"HONDA"／「NSX CONCEPT」や"LEXUS"／「FLA」などが展示されているのを観て、最先端のシステムに近未来的なデザイン、日本が誇る最高の技術が詰まったスーパーカーに胸が熱くなり時間を忘れ大はしゃぎしてしまいました。さらにはWATARAIさんのマニアックな解説も加わり驚きと新しい発見が止まらず、童心に帰るとはまさにこのこと、1日では堪能しきれない大満足の内容に次回は数日かけて楽しみたいと心の底から思いました。

余談ですが、漢のロマン『車』といえば言わずもがな隣に乗るのは『おねーさん』。車と言えば女。…もちろん会場コンパニオンのチャンネーとのセッション、エンデンフルスロットルで駆け抜けちゃった Z！(;´∀`)

はてさて2014年はどんな年になるのでしょーか？ 100万馬力、今年もモツは突っ走りまーす👊 ヒーーハーーーーッ！

PHOTOGRAFFITI

広告写真制作会社勤務を経て、1995年よりフリーランスのカメラマンとして活動を始める。
長きに渡りHIP HOPに寄り添い、数々のアーティストの撮影を手掛け業界にその名を轟かせる。
HARLEM MAGAZINEの巻頭撮影をはじめ、ジャンルに捕らわれないその活動は現在も激しく爆走中！



新年明けましておめでとうございます。
コラムで挨拶なんて贅沢の極み！ありがとうございます。今年も皆様のおかげで無事に新しい年を迎える事ができました。
それにしても、どうすかっ？ 日本！ 東京！ 2014！世界同時不況に端を発し、あれやらこれやらで出口の見えない閉塞感の中で様々な模索を続けている中、バビロンで生き抜くためには、時には息抜いてリフレッシュして100%の自分の力出せるようにしとかないと。と、考えていたら緊急召集だ。丁寧な文章でスタンプもない。
HARLEM STAFF M氏、S氏、デザイナー兼アートディレクター兼なんかいろいろのMATTEE氏の面子だ。最近の表紙撮影に対するヤツラの気合いはエグイ。なんか新しい、その世界に向けての打ち合わせは、始まると大体長い。サムギョプサルの煙をiPadであおぎながらもMATTEE氏のスピーチ＆指令から始まり、ああだ！こうだ！そうじゃないな！だよな！そんな！予定どうりに、こじれて気がつけばブラックライトの中で男4人でボーリング。S氏が、ストライク4回続けて出してギャァ〜〜！そんな盛り上げんならとカラオケへ。その日の打ち合わせは10時間で逃げた。逃げる前には睨まれた。でも楽しかった！
僕は、本来、人は楽しむ為に生きてる。苦しむ為に生きているんではないと考えてます。ビシッ！キリッ！アラッ！大きいテーマ！楽しさの為になら、頑張る、努力もする、知恵も絞る。人それぞれが、そのひとなりの楽しさを探して旅に出る。やっぱ、楽しいのって基本、とっても大切。そのことに対して『愛を感じる。愛がある。愛に包まれる。』イイネッ！
ってことで、今年一発目のテーマはド・ストレート『愛＝LOVE＝ラヴゥ』。下唇は甘く噛むほうのヤツで。いろいろな人、いろいろなことへの自分が感じる楽しさ【愛】。それぞれの愛する人との新年ということで、東京の夜のキャンバスに花火打ち上げときました。あなたの隣にいるひとを大切に！今年も愛すべき瞬間を求めてカメラ持ちまぁす。ハイ撮ります！愛してます！今年もよろしくでございます。

The WeekEnd PlayList

Selected by DJ RYO, DJ ALAMAKI
from Every Friday Party "HAZE"

DJ RYO

DJ ALAMAKI

by DJ RYO

"Rave" Pelari

今イチ押し＆注目アーティスト、スウェーデン出身の「Pelari」。"Cango" のようなストレートな曲も作るし、他のアーティストのTrap RemixやBootlegも作る。
そして今回の曲 "Rave"。最近また〈Rave〉の流れが来ているのを知ってか、タイトルがまんま(笑)。
ここ最近のProgressive HouseやElectro Houseは似たような物ばかりですが、この「Pelari」は一味違うんです！
独自のスタイルと音楽性を、自由に表現しているのが分かり伝わる彼に2014年も注目したいと思います！

"Direct Dizko" Sander Van Doorn & Yves V

「Sander Van Doorn」は "Neon" や「Dimitri Vegas & Like Mike」との "Project T"、「Yves V」は "Umami" や「Blasterjaxx」との "That Big"、と2013年に良い曲をリリースしている２人の合作。しかもとても濃い１曲に仕上がってます！
曲をキャッチーに仕上げるアーティストが多い中、軸がブレない彼らの曲 "Direct Dizko" は力強いうえ、『This is a special dedication especially for you.』ともあるように、音楽を愛している人達へのメッセージが込められています。素晴らしい1曲なので必聴でお願いします！

"Intense (feat. Miri Ben Ari) (Dannic Remix)" Armin Van Buuren

オリジナルの楽曲は半年以上前にリリースされているのですが、今回注目してもらいたいのはRemixをしている「Dannic」です。
"Clobber" や "Viper" など良い曲をリリースしている「Dannic」のRemix技術と感性は『素晴らしい』の一言です。
オリジナル楽曲の良さを残しつつ、しっかりDannic色に染めてくる。
是非「Dannic」の他の曲やRemixなども聴いてみて下さいね。

"The Cube (Original Mix)" Ummet Ozcan

素晴らしいキャリアと名実共に兼ね備えているのにも関わらず、年々更に勢いを増してきているアーティストの一人で、5月のHARLEM MAGAZINEでも「W&W」との "The Code" を紹介したんですが、その後に "Revolution" やArmin Van Buuren Pulsar Remix" など良い曲を連発してきましたね。
そしてこの "The Cube"。クセになる感じがたまらないです！ 自分的には「Sander Van Doorn」の "Neon Remix" より好きです。
2014年も目が離せないアーティストの一人ですね！

"Stampede" Dimitri Vegas & Like Mike vs DVBBS & Borgeous

「Dimitri Vegas & Like Mike」は2013年、ネット上や現場など様々な場所で一番目にしたアーティストかもしれません。"Project T"、"Ocarina"、"Get Away Remix / Alex Hide" など多数。リリースも多く、そのうえ全てが素晴らしいクオリティーです！
この曲 "Stampede" は、"Tsunami / DVBBS & Borgeous" の打ち方をそのままに、水から大地へとコンセプトを変えた壮大な１曲。
今年も間違いなく暴れてくれる「Dimitri Vegas & Like Mike」。流されず突っ走ってもらいたいですね!!

by DJ ALAMAKI

"Trillmatic" A$AP Mob feat. A$AP Nast & Method Man

みんな大好き「A$AP Mob」のNEW SHITは久しぶりの登場となる「Method Man」を客演に迎え、更には "Hip Hop Junkies / Nice & Smooth" の『I Gotta Funky Funky Rhyme With A Funky Style』というフレーズを使っちゃってます。
プロデュースはいつも通り「A$AP Ty Beats」ですが、今回もかなりトーンでイカしたトラックです！
PVも格好良いので要チェック！

"With Me" Cashmere Cat

"Mirror Maru" や "Do You… (Cashmere Cat Remix)" 等のヒットを飛ばした「Cashmere Cat」が、彼の代名詞ともいえるいつものエモいピアノで始まりつつ、途中からは聴き手を裏切るブリブリなベースを使うなど、最近までのJersey Club Musicとは違うスタイルで、また彼の新しい世界観を表現しています！
個人的に超好きな１曲。

"Together" Disclosure x Nile Rodgers x Sam Smith x Jimmy Napes

この原稿を書いている時点ではグラミーのBest Dance / Electronica Album部門でも "Settle" がノミネートされる等、2013年大活躍をした「Disclosure」と、「Daft Punk」のアルバムでもフィーチャーされていた御大 "Nile Rodgers」、"Latch" にも参加した「Sam Smith」と「Jimmy Napes」による "Together"、"Settle" に収録されていた楽曲とは違い、Funk色強めな仕上がりになっています。
今年も更に進化する彼らから目が離せません！

"Stand Still (Wave Racer Remix)" Flight Facilities

"Crave You" のHITなどでも知られる「Flight Facilities」の新曲 "Stand Still Wave Racer Remix"。
今回紹介したいのは「Flight Facilities」ではなく、最近勢いのあるオーストラリア出身の「Wave Racer」なんですが、この曲以外にも "Rock U Tonite" や「Cosmo's Midnight」の "The Dofflin (Wave Racer Remix)" も様々なDJ達がプレイしています。
昨年に引き続き、今年もこういったシャレたTRAPが増えてきそうですね。

"Tell Me (YGSP Remix)" Dru Hill

「eSenTRIK」と共に「TWRK」としても活動している「Benzi」が、先日のBBC Radio 1 Extra Diplo & Friendsに出演した際にPLAYしていた、マイメンYGSPのNEW REMIX !!
この曲のデータも、BenziのMIX "Girl Trapz Vol. 4" も、どちらも下記Soundcloudのリンクからフリーダウンロードできるので皆さん是非聴いてみて下さい！
今年も色々制作していくのでYGSP、DJ ALAMAKI 共々よろしくお願いします!!
https://soundcloud.com/ygsp
https://soundcloud.com/yusuke-alamaki

Flavor of the Month

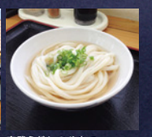
Written by DJ Ken-Ske
from Every Tuesday at BX CAFE "ROYAL FLUSH"

去る12/3、ROYAL FLUSHにて自身の誕生日を多くの方に盛大に祝って頂きありがとうございました。このコラムをしたためている今時点でこそなんとか回復したものの、連日の誕生祝いとかこつけた呑み会、パーティーによってかなりのダメージを被り、丸二日程自宅で廃人と化してしまってました。五臓六腑には相当こたえましたが、なんとか五体満足で済みました。お祝い頂いた皆様、本当に感謝感謝、逆にあなた方の誕生日には倍返ししたいと企てておりますのでお楽しみに。

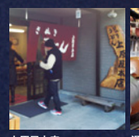
以前こちらでご紹介した風@三軒茶屋にて戴いたバースデーケーキならぬバースデー揚げ。

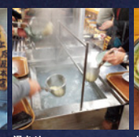
そういえば11月末日に岡山営業へ行って参りました。ゲストDJとして自分、MCには以前ハーレムでも活躍していたC.Tが招集されて、90's縛りのパーティーで朝までわいのわいのとしっかり騒いできました。東京でも一緒にDJしていたマイメンTAISEIやMANATOらとも久しぶりに会ってかなり楽しいパーティーでした。藤井さん、KAIさん、GOBBY君、MARSの方々やお客さん本当にありがとうございました。
そしてそのTAISEIがこの度晴れて結婚しました。嫁も昔から知っているコで何とも感慨深いっすね。改めておめでとう！ 翌日はC.Tに同行して淡路島から来ていたTOBBY君の車に便乗し、MARSのオーナー藤井さんの粋な計らいでうどん県＝香川県は高松市に行って参りました。なんと四国は初上陸！ だったのでもの凄い感動しました。街は綺麗だし、うどんのなんとまあ安い・早い・旨いこと！ ダイエット中だったにもかかわらず、その掟、完全崩壊してしまいました、というか現在進行形です。シンプルな中にも各店それぞれの個性があって食べ飽きません。こりゃ住んでたら毎日喰っちゃうんだろうな。今でこそ東京でも讃岐うどんを食せるお店はたくさんありますし、旨い店はありますがやはり本場にはかないませんね。蕎麦にも言えることですが、やっぱり水が違うことが大きいと思われます。そんなんで食したうどんのご紹介。

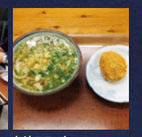
宮武うどん


宮武うどん ひやあつ

まず一軒目。岡山から高松に入ってすぐ降りた高速のインターチェンジから程近い名店。ひやあつ（麺が冷たく出汁が熱いやーつ）を注文。麺はガシガシの固いのとは一線を画す、つるつるもちもちの適度な弾力を持った麺。出汁は自分が今まで食べてきたどのうどんよりもイリコ系の煮干しが強かったですが、決して魚臭い訳ではなく最後まで一滴残らず飲み干してしまう旨さ。


上原屋本店


湯きり


かけコロッケ

間髪入れずに二軒目。じゃないとハシゴ出来ないので。ここはなんとセルフ式のうどん屋さん。まず好みの揚げ物をチョイスしてから麺のみを購入。それを自分好みの温かさに自らの手でゆがいてから出汁を注ぐ訳ですが、なんとまあ蛇口から出汁が出るではないですか!! 自分はここではあつあつに仕上げていざ実食。味はというと前者を凌ぐ煮干しのパンチ力。適度にコシのある麺と相まって極上のハーモニーが醸し出されます。そして藤井さんお勧めのコロッケもホクホクで大変おいしゅうございました。

一鶴

いざ三軒目！ということでまたもや矢継ぎ早に移動したものの時既に遅し。鳥天が旨いとのことだった某店は閉店ガラガラ状態だったのでアナザー・クラシックの呼び声高い骨付鶏の名店へ行くことに。右記写真でも十分伝わるでしょう！ これ、激ウマです。持ち帰りまでしてしまいましたし、通販も出来るようなのでこりゃ東京から頼んじゃうかも。とパンフを持ち帰り眺めていたらなんと横浜にも支店があるとのこと。藤井さんごちそうさまでした。
というわけで弾丸四国食い倒れツアーを終え、前述の淡路島クルーのご好意で淡路島経由で神戸まで送って頂き新幹線にて無事帰路へとつきましたとさ。

この号はもう1月号となるということで、ちょっと早いですが明けましておめでとうございます。2014年の一発目のROYAL FLUSHは「おせちに飽きたらカレー」というカレー業界の刷り込みに便乗して私のお手製のカレーを数量限定で販売致します！ しかも普通のカレーじゃ面白くないんでスープカレーを作りたいと思っております。とはいえ初の試みなので今からドキドキです。2014年も毎週火曜日ROYAL FLUSH、RED ZONEを宜しくお願い致します。そして皆様にとっても良い年でありますように。

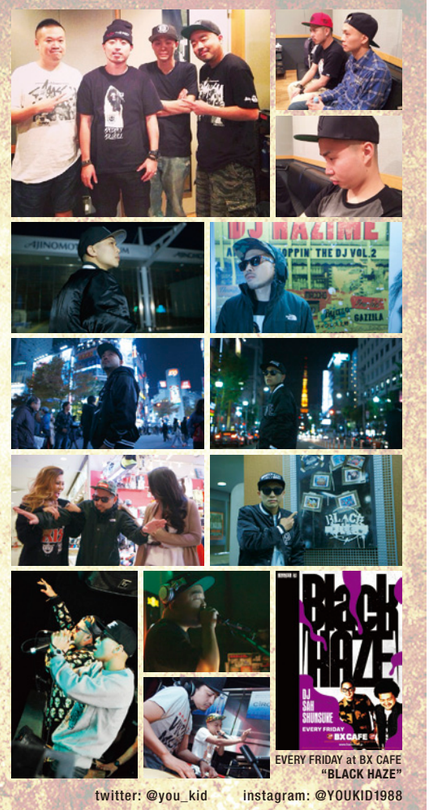
DJ KEN-SKE
mail: djkenske@gmail.com
blog: http://djkenske.blogspot.com/
myspace: http://www.myspace.com/djkenske
facebook: http://www.facebook.com/djkenske
twitter: http://twitter.com/djkenske

"THE ANTHEM"

text by YOU-KID

忘れもしない10月も始まったばかりのある日の夕方、俺のポケットの中でiPhoneが震えた。電話の主はMCのBULL君。「DJ HAZIMEさんから話があるって。すぐ電話したほうがいい… 大変なことになる。」一人パニックになりつつ、HAZIMEさんに電話をかける。俺は何かやらかしたのか？ 大変なことって何だ？ 心臓バクバクの中コール音からHAZIMEさんの声に。「次のオレのアルバムにBULLと共に参加してほしい。」この言葉を聞きたいRAPPERが渋谷で、東京で、日本中でどれだけいることだろう。しかもTrackはDJ WATARAIさん。震えたぜ。俺もBULL君も渋谷中心にMCしているのでもちろんHAZIMEさんとは何度もパーティーでご一緒させてもらっている。さらに今年発表した『THE MC』が現場で反応があったりしたところへのHAZIMEさんからのお声掛けだった。MCとしてはなんとかやれてるけど、もちろんRAPPERとして世に出ていきたい。そんな俺たちの思いをすくい上げてくれた「異例の」がつく大抜擢だった。
その後ミーティングを行い曲の方向性が決まる。俺もBULL君もHAZIMEさんも東京生まれで東京育ちで東京で戦ってる。だからこそ歌えるこの街の歌を歌おう。ブッ飛んだSWAGを交えて。アルバムレコーディングが最終盤になってからの急遽の制作決定だった。オファーからRECまでの期間は6日間、ミーティングやプリプロの時間を考えると制作に費やせるのは正味４日。もちろん普段のMC業も休めない。本当なら一ヶ月でも足りない位時間をかけたいがそうも言ってられない。全精力をかけて書き上げた。
〈REC～完成〉ついに運命のRECの日を迎える。場所はあのDaimonion Recordings。クレジットでしか見たことなかったあの場所で、声を録る。HAZIMEさん、さらにはWATARAIさんも同席して。これは夢か幻か。スタジオに入ってからの俺たちは緊張でガチガチ。世間話をふってくれたりHAZIMEさんはめちゃめちゃ優しかった。的確なアドバイスも入れてくれ、しまりのあるいいRECになった。おかげでREC後の写真は戻ってきた緊張とRECからの解放感でよくわからない顔になってしまったけど…。その後MIXを経てついに『THE ANTHEM』は完成。HAZIMEさんをはじめWATARAIさん、Daimonion Recordings村田さん、ユニバーサル名古谷さん、ありがとうございます。そしてほどなくして2013年日本語RAP最重要盤、『AIN'T NO STOPPIN' THE DJ VOL.2』がついに完成した。
〈ビデオ撮影〉アルバムリリース間近のある日のアメサン終了後、どこからともなく「ビデオ作らないの？」との声… 参加させてもらっているだけで光栄なのにビデオなんて… と思っていたところ、HAZIMEさんは「ちゃんと企画立てられるなら作ってもいいよ」とのこと。そこで俺が密かに関わっているスペースシャワーTVの番組『BLACK FILE』とのコラボを提案したところ、話は盛り上がり、HARLEMが誇る日曜のBIG PARTY『Amazing Sundayz』を巻き込んでの企画がその場で立ちあがってしまった。しかしこんな大それた企画、ホントに通るだろうか…、まごつく俺をみかねてHARLEM小野寺店長から「こんなチャンスないからぶつけてみろ！」とのその甘いフェイスに似合わない熱いお言葉と大量のテキーラをいただき、勇気づけられた俺は後日スペースシャワーTVへ直談判しに向かったのだった。結果は成功！ どころか規模はでかくなり、映像ディレクターtatsuaki監督による東京中をまわるロケ、アメサンでのSHOT LIVE映像を含む豪華ビデオ撮影となった。世の中言ってみるものである。ビデオ公開は2014年１月中旬を予定なので確実にチェックを!!
〈おわりに〉フックアップという言葉がふさわしいこのストーリーだが何も無い所から生まれたわけではなく、HARLEMさん始め多くのクラブで現場をこなしてきたからこその話であります。だからこそ感謝はもちろん、これからも現場を盛り上げることで恩返しできれば、と思っております。毎週金曜BX CAFE、DJ SAHさん、SHUNSUKEさんによるHIP HOPパーティー『BLACK HAZE』にてMCしております。SEXYなGOGO DANCERと一緒に音楽に華を添えてお待ちしてますのでぜひ足をお運びください。ではまたパーティーでお会いしましょう！

DJ HAZIME
"AIN'T NO STOPPIN' THE DJ VOL.2"
IN STORES NOW ¥2,500 (Tax Incl.) TYCT-60014



EVERY FRIDAY at BX CAFE
"BLACK HAZE"
twitter: @you_kid instagram: @YOUKID1988

2014年 新年EDMまでも包括した日本初にして最大のNEW YEAR'S DANCE MUSIC FESTIVAL 開催！

electroX

Redfoo / STEVE ANGELLO / STEVE AOKI

laidback luke / Headhunterz / NERO

BLASTERJAXX / BOOMBOOM SATELLITES / CAPITAL CITIES / CTS / DAISHI DANCE / Kay

KRYOMAN DJ SET / MODESTEP / m-flo DJ SET / SHOGUN / Tommy Trash / YAMATO / ZEDS DEAD

...and more !! (alphabetical order)

IBIZA STAGE: WHITE IBIZA DANCERS / DANI ZARO / DAISHI DANCE / DJ RIE / DJ RINA

EXTRA APPEARANCES: KRYOMAN THE ROBOT / CYBERJAPAN DANCERS...and more!

2014.01.04 Sat MAKUHARI MESSE

OPEN-12:00 / START-13:00 ※本公演はオールナイト公演ではありません。

TICKET: ￥11,000-(税込/全立見/要別途ドリンク代￥500-) PLATINUM TICKET: ￥22,000-(税込) →専用ビューイングエリア/ 専用ラウンジ/ 専用入場レーン/ 専用クローク/1ドリンク付

TICKETS NOW ON SALE !! www.electrox.jp

●出演アーティスト変更による払い戻しは致しません。●再入場不可。●未就学児(6歳未満)のご入場はお断りさせて頂きます。
●ご入場の際、別途ドリンク代¥500が必要となります。●本公演はオールナイト公演ではありません。

総合主催・企画・制作・招聘: クリエイティブマン www.creativeman.co.jp

BRUNO MARS

THE MOONSHINE JUNGLE TOUR 2014

世界No.1メロディ・メイカー
ブルーノ・マーズ
待望の来日公演が遂に決定！

4.12 Sat
OPEN-15:00 / START-17:00

4.13 Sun
OPEN-14:00 / START-16:00

幕張メッセ

www.brunomars.com

TICKETS: S指定席¥9,000-(税込) / A指定席¥8,000-(税込) / プレミアム・スタンディング・エリア¥15,000-(税込・グッズ付) INFO: クリエイティブマン 03-3499-6669

※4歳以上のお子様はチケットが必要となります。ただしスタンディング・エリアへの未就学児(6歳未満)のご入場はお断り致します。

●カメラ・ビデオテープレコーダー・カメラ付き携帯電話等による出演者アーティストの撮影、録音は禁止致します。
●会場内・外で発生した事故・盗難について主催者・会場・アーティストは一切責任を負いません。

企画・制作・招聘: クリエイティブマン 協力: ワーナーミュージック・ジャパン

TOTAL INFO: CREATIVEMAN 03-3499-6669 * www.creativeman.co.jp * twitter.com/CMP_official * facebook : CREATIVEMANで検索!

GRAMMY 2014 NOMINEES ALBUM

シーンを代表するアーティストが多数ノミネート!!

JAY Z “MAGNA CARTA... HOLY GRAIL”

UICD-6206 ¥2,300

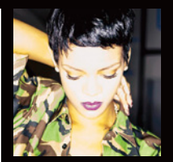
◎最多9部門でノミネート！
Best Rap Performance
Best Rap/Sung Collaboration
Best Rap/Sung Collaboration
Best Rap Song / Best Rap Album
Best Recording Package
Best Music Video director
Best Pop Duo/Group Performance
Best Music Video

Kendrick Lamar “GOOD KID, M.A.A.D CITY”

UICS-1264 ¥2,980

◎主要2部門を含む
7部門でノミネート！
Album Of The Year
Best New Artist
Best Rap Performance
Best Rap/Sung Collaboration
Best Rap Album
Best R&B Performance
Best Rap Song

Rihanna “UNAPOLOGETIC”



UICD-6203 ¥2,300

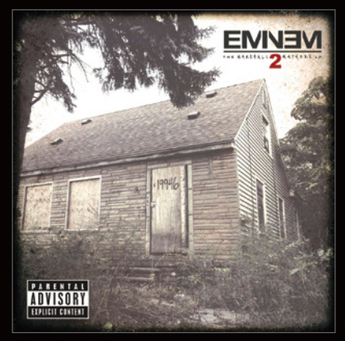
Best Pop Duo/Group Performance
Best Urban Contemporary Album

Kanye West “YEEZUS”

UICD-6205 ¥2,300

Best Rap Song
Best Rap Album

Eminem “THE MARSHAL MATHERS LP 2”



UICS-1276 ¥2,980

Best Rap Performance

Drake “NOTHING WAS THE SAME”

UICU-1241 ¥2,300

Best Rap Performance
Best Rap Song
Best Rap Album
Best Rap Song

www.grammy.com

MONTHLY “HARLEM MAGAZINE”
SPIT'EM OUT!
“It's Absolutely Raw”
This Magazine gives y'all Hip Hop Headz the Real Words from the Real Scene...
Volume.070・Issue.197・JAN. 2014

Publication: Otanoshimi Kenkyujo Inc. 6F, 2-1-10 Ebisu-minami, Shibuya-ku, Tokyo 150-0022 Japan Tel. 03-5768-4910 Fax. 03-5767-4912 e-mail. otaken@harlem.co.jp
Editor in Chief: Atsushi Nukazawa **Editor:** Akiko Sasaki, Nobuhisa Mikasa, Kohei Tamura, Shoki Sato **Art Direction&Design:** Takashi Wakamatsu -Camel D.F.-
Special Thanks: DJ Komori / Hashimo2 / S-Saito / DJ Ryo, Alamaki / DJ Ken-ske / You-Kid & All HARLEM Peoples

Contents & Design may not be reproduced without the express permission of the Publisher. ©2014 Otanoshimi Kenkyujo Inc. All rights reserved. Printed in Japan.

編集後記
■球団創設80周年という記念の年に二度目の成人を迎えます。腰を据えて真面目に過ごしたいと思います。[ピカール]
■2014年スタート！元気に頑張っていきましょう!![ピーノ]
■〔改革の2014〕なんてとりあえず掲げてみる。[うに2]
■日々是鍛錬。精進スベシ。恐ルルベキハ己ガ弱キ心也。[t.n.t]
■『中核を大切に』というハードコアの原点。[ID番長]
■あけましておめでとうございます！ 今年こそは清水にタイトルを！ 今年こそ… 今年こそは！[RYUGI]